

第8期 2022（令和4）年度事業報告書

一般財団法人BNI財団ジャパン

令和4年7月1日から令和5年6月30日まで

令和4年7月	BNIビジネスブースタープログラムに登壇
令和4年8月	決算報告・役員変更（理事会/評議員会）
令和4年9月	定款変更（臨時評議員会）
令和4年10月	報酬振込1件 ビジネスボイスフューチャーリーダーズウィーク
令和4年11月	グローバルコンベンションinシンガポール 財団ジャパンの取組を紹介
令和5年2月	ナショナルネットワーキングデー 横浜児童養護施設訪問（聖母愛児園） 助成金申請受付 トルコ南部地震災害義援金開始
令和5年3月	無料オンデマンド映画イベント開催 映画「道しるべ」（あなたは誰の人生に登場しますか）
令和5年4月	BNIナショナルカンファレンスin熊本登壇 ナショナルカンファレンスブース出展 ナショナルカンファレンスウォーキングイベント開催 報酬振込1件
令和5年5月	助成金選考期間 BNI港中央リージョンアワードブース出展
令和5年6月	助成金採択支払い、第9期予算承認理事会 ナショナルネットワーキングデー
毎月末	寄付者向けにニュースレターを発行 Catch Your Dreamプログラム順次開催

令和4年7月WEB開催、BNIビジネスブースタープログラムに大野佳子代表理事が登壇し広報活動を行いました。

BNI財団国際本部との連携で令和4年10月17日から21日までビジネスボイスフューチャーリーダーズウィークとし、BNIの定例会を学校で開催し、子ども達と交流することを目的にしています。

グローバルコンベンションinシンガポールが令和4年11月16日から19日まで開催されました。BNI財団国際本部の登壇時に財団ジャパンの取組を紹介され、助成金の使われ方、キャリア教育プログラムCatchYourDreamの紹介、国内外災害支援について発表。

令和5年2月10日から3月10日まで受付を行った2023年2月トルコ南部地震災害義援金募集に1,435,900円集まり、またBNIジャパン（JBNIインターナショナル株式会社）よりマッチングとして米ドル100万円相当ご支援いただき全額トルコ南部震災を支援するトルコのNGO団体へ送金完了。

令和5年1月より募集し、3月24日から26日まで期間中好きな時間に何度でも視聴することができる、教育ドキュメンタリー映画「道しるべ」（あなたは誰の人生に登場しますか）鑑賞を開催。
100名程の申込がありました。

令和5年2月、6月BNI主催ナショナルネットワーキングデーイベントに「子ども達と教育支援」して財団理事がホストとして、参加。今後も継続。

令和5年2月に横浜にある児童養護施設「聖母愛児園」へ訪問。児童養護施設で暮らす子ども達の住居の様子を見学、また施設職員による説明などを受けた。
BNI横浜リージョンを中心に、児童養護施設支援にむけてイベントを企画。
財団はこの支援活動を後援。

令和5年2月から4月末まで助成申請受付けし34件申請があり、5月に選考員による助成先が6件決定いたしました。1団体上限30万円とし詳細は以下となります。

団体名	金額	助成品	地域
特定非営利活動法人たけのこ project	299,860 円	耕運機、雨水タンク、タブレット	埼玉
特定非営利活動法人光量子医学推進機構	300,000 円	PC、3D プリンター	静岡
浦和マイクラ部 CoderDojo 浦和	294,910 円	PC、プロジェクター	埼玉
一般社団法人 NEO のむら	292,680 円	PC、タブレット、スピーカーマイク	愛媛
ナタデココ	297,980 円	翻訳機、タブレット	東京
ジュニアドローンプログラミング協会	300,000 円	ドローン機材、PC	京都

令和5年4月に行われたナショナルカンファレンス2023 in 熊本では、スーパーヒーロー+12名

ヒーロー+5名

サイドキック+4名

21名の方々が増え、BNI財団ジャパンの活動をご支援くださる方が79名。イベント前は、コロナ禍で月32万まで落ち込みましたが現在54万となり22万増となりました。

ブースにおいて都度寄付もメンバーズデーでは108,330円、でデレクターズデーでは6,000円、リージョナルリーダーズデーでは10,000円ご寄付頂き124,330円となりました。

初の試み財団理事達とのウォーキングイベントは15名のご参加。

熊本城までの道を早朝約1時間散歩。

財団とご当地キャラクターのコラボ記念Tシャツは80枚、即日完売。

財団報酬支払いについて、理事・監事・評議員・選考員 10名のうち9名辞退。
令和4年10月25日、令和5年4月25日該当者へ報酬支払い完了。

ゴールドクラブメンバー（各地域）において、開催祝辞動画を送り、イベントの収益の一部を財団寄付として頂戴。

Catch Your Dreamプログラムは以下のスケジュールで行いました。

2022/07/08 茨城県立太田第一高等学校 【WEB】

2022/08/25 長野県千曲市立戸倉上山田中学校 【WEB】

2022/11/25 東京都世田谷区立希望中学校（対面）

2022/12/5 千葉県松戸市立河原塚中学校（対面）

2022/12/8 茨城県立太田第一高校附属中学校 【WEB】

2022/12/10 東京都サレジアン国際学園（対面）

2023/1/14 神奈川県清泉女学院高等学校（対面）

2023/2/15 東京都都立南多摩中等教育学校（対面）

2023/2/18 神奈川県清泉女学院中学校（対面）

2023/3/11 東京都世田谷区立桜木中学校（対面）

2023/4/27 東京都杉並区立富士見丘中学校（対面）

2023/6/16 東京都小台橋高等学校（対面）

2023/6/17 茨城県水戸市常磐大学高等学校（対面）

下線はBNIがスポンサーとなった学校。

地方のボランティア講師はオンライン、関東近郊のボランティア講師は対面とハイブリット開催を推進。対面のボランティア講師募集について、BNI港中央リージョン、BNI東京N. E. リージョンへ協力依頼。

生徒側のコメント

- ・自分の思っている社会人の姿とは違うことが分かり、将来が少し楽しみなった。
- ・挑戦することが重要だと分かった。

先生側のコメント

事前打ち合わせでは生徒たちが将来は真っ暗だと悲観しており、希望を持ってないと言っていましたが、実際にプログラムを実施してみると、皆が生き生きと夢を語ってくれる姿も見られ、とても嬉しく思いました。

これも生徒にあたたかく寄り添ってくださった、ボランティア講師の皆様のおかげと存じます。ありがとうございます。

共催のジュニア・アチーブメントコメント

世の中の職業を調べ仕事について大人に尋ねる機会はどの学校にもありますが、Catch Your Dreamでは人生の意思決定に焦点をあて、自分軸で将来選択をすることの大切さを伝えていることが大きな特徴です。

社会が刻一刻と変化し、日々新しい仕事生まれ、生き方が多様化している現代においては「何の職業を目指すか」ではなく、「何を大切に選択していくか」という意思決定における自分軸を見つけることが何よりも大切だと考えCatch Your Dreamを設計しています。その意味で、生徒達がCatch Your Dreamのなかで「自分のことがより理解できた」「自分が大切にしたいことが分かった」などの気づきを得ていることが大きな成果だと感じています。また、仕事=大変で嫌なもの、大人=つまらない、という印象を多くの子ども達が抱えており未来に対して前向きになれないなかで

Catch Your Dreamは「仕事=やりたいことの実現の場」「大人=楽しい」という大変前向きなメッセージを伝えています。

特にBNI財団ジャパンからご紹介いただく社会人ボランティアの皆さまは確固たる自分軸を確立され、自分で道を切り開いていらっしゃる方々ばかりで大人を楽しんでいらっしゃるの、子どもたちに大きく響いていると感じます。

毎月行政書士、税理士と打ち合わせを行い内閣府へ公益財団法人申請現段階では目指しておりませんが、いつでも申請できるように準備しております。

ホームページ見直しを検討中。

コロナ禍において、定期寄付者の減少をどう増加にするかが引き続き課題。

また災害支援、過去の被災地支援について、今後も起こりうる災害に対して財団では義援金など速やかな対応をしていく所存。